

下諏訪町 災害時のごみ出しガイド

大きな災害時、家庭ごみは
どうしたらいいの？

地震で壊れた家具は
どこに捨てればいい？



もしも災害が起きたら、ごみはどうすればいいのでしょうか？
災害時に発生するごみについて、日ごろから考えておきましょう。

出典：環境省「災害廃棄物対策フォトチャンネル」(http://kouikishori.env.go.jp/photo_channel/)
令和元年東日本台風 路上や公園等に混合状態で堆積した災害廃棄物(長野県長野市)を加工して作成

もしも災害が起きたら…

大きな災害が発生した場合、通常では家庭ごみとして出さない、ぬれた畳や泥だらけの家具など大量のごみが発生します。早期復旧・復興のためには、迅速なごみ処理が必要となります。

災害時に発生したごみを適切に分別していただくことで処理期間が短くなり、悪臭の発生や害虫の被害抑制にもつながります。災害時のごみの出し方について確認をしておきましょう。

○災害時でも分別が必要です

ごみは種類ごとに処理方法が異なるため、分別されていないごみは処理できません。分別されていないと、処理先へ搬出するために、再分別を行う必要があり、災害復旧の遅れにつながってしまうため、お手数でも分別を行うから仮置場に持ち込んでください。

○地区収集はどうなるの？

大きな災害が起きたとき、家庭から出るごみの収集を一時的に停止する場合があります。発災後は町からのお知らせに注意してください。町からの地区収集や仮置場のお知らせは、防災無線、ホームページ、チラシやごみ分別アプリ「さんあ〜る」などでお知らせする予定です。

災害時のごみの出し方

大きな災害時には、通常の収集を行うことができないため、家庭から出るごみは、生ごみなど腐敗しやすいごみから、優先的に出してください。急いで捨てる必要のないごみは、収集運搬及び処理体制が復旧するまで、できる限り自宅等で保管してください。

燃やすごみ(生ごみ・汚物優先)

生ごみ・携帯トイレ・おむつなど



地区収集が再開してから、 ごみ収集ステーションに出す

- ・燃やすごみの収集は3～4日以内に再開することを目指しています。※ただし、状況によって、それ以上時間がかかる場合があります。
- ・災害の規模によっては、収集場所や収集曜日を変更する場合があります。

片付けごみ(災害廃棄物)

9分類に分別してから、 町が指定する仮置場へ持ち込み

- ① 畳
- ② 布団類・じゅうたん
- ③ 木くず・木製家具類
- ④ その他の大型可燃物
- ⑤ 特定家電(テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコン)
- ⑥ 金属類・小型家電
- ⑦ ガラス陶磁器
- ⑧ がれき類(コンクリート・ブロック・レンガ・瓦・石膏ボード・スレート)
- ⑨ その他

・災害の種類により、分別や持込方法が変わることがあります。仮置場の開設時にホームページ、ごみ分別アプリ、チラシ等でお知らせします。

避難所ごみ (避難所での生活で出てくるもの)

通常のごみと同じように分別してから、 最寄りのごみステーションに出す

資源物



埋立ごみ



収集再開まで自宅等で保管

携帯トイレの使い方・捨て方

上下水道に被害があると水洗トイレを使うことができなくなります。携帯トイレを備蓄しておくで安心です。

- ① 便器にポリ袋(45ℓ程度)をかぶせ、その上から携帯トイレ(便袋)を設置する。
排泄後、携帯トイレ(便袋)のみを交換します。
- ② 用を足し、汚物を固める。
吸水シートや凝固剤で固めます。製品により使い方が異なるので説明書を確認してください。

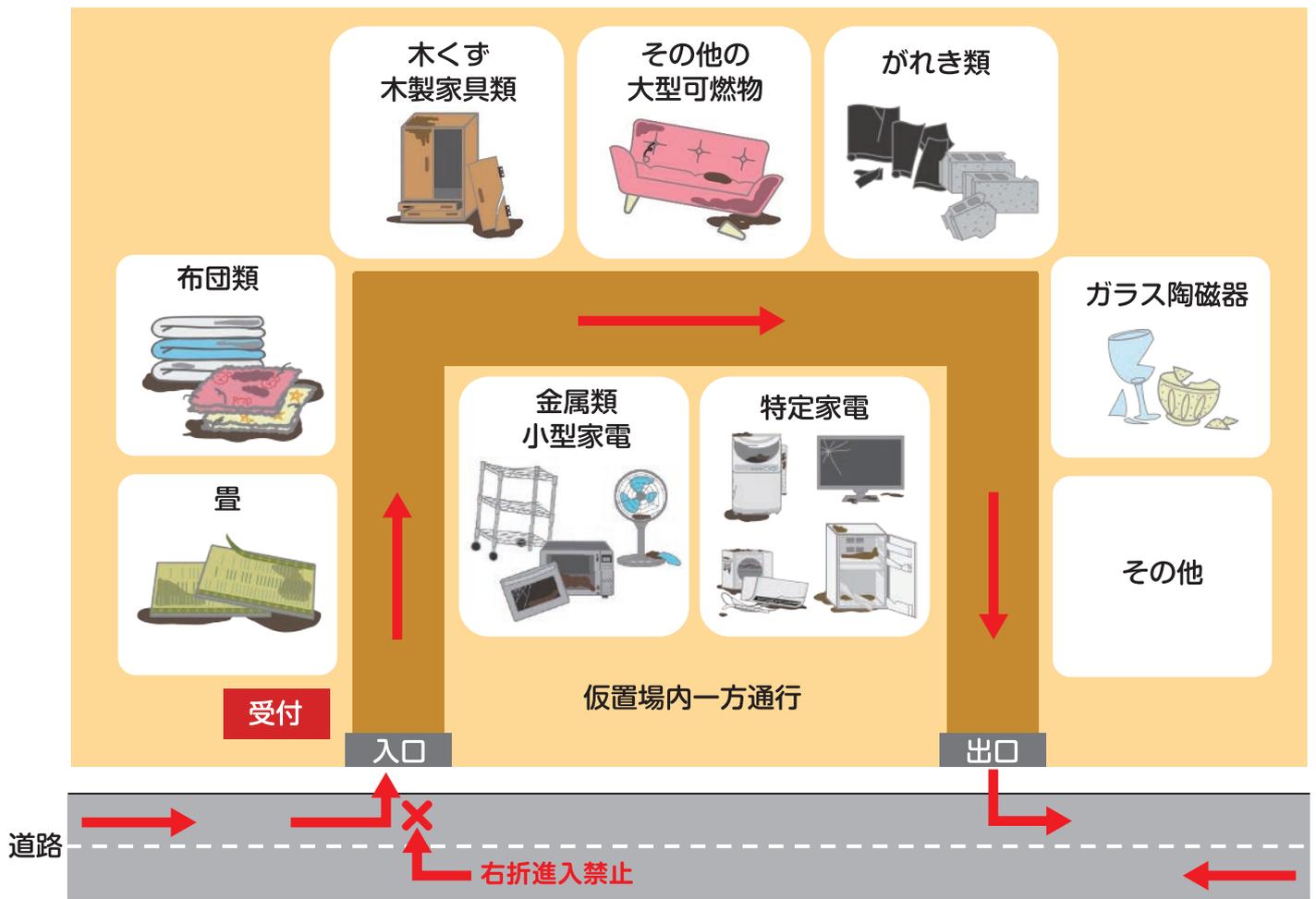
- ③ 携帯トイレ(便袋)だけを取り出し、空気を抜いて口を強くしぼる。
空気を抜かないと、収集時に袋が破裂し、飛び散ることがあります。必ず袋の空気を抜いてください。
- ④ 収集が再開したら、燃やすごみとして捨てる。
ふた付のごみバケツや汚物処理専用の保管袋に入れることで臭いが軽減されます。



仮置場への持ち込みについて

- ・仮置場の場所、分別、持込方法などは、災害の状況に応じて町民のみなさんにお知らせします。
- ・**事前に分別をして持ち込んでください。**
- ・ごみの発生場所を確認するため「免許証」や「公共料金の納付書」などで住所を確認します。
- ・中身が入ったままの冷蔵庫や冷凍庫は受け入れできません。(中身は燃やすごみに出してください。)
- ・災害で発生した以外のごみ、事業所から発生した片付けごみ、解体業者による解体ごみは受け入れできません。
- ・その他危険物など町で処理できないものは持ち込みをお断りする場合があります。(ガソリン、灯油、ガスボンベ、消火器、農薬などの薬品類など)

○仮置場の分別配置の例(災害の状況に応じて変わります)



○町からのお知らせ方法

災害の種類や被害状況により、ごみの分別方法や仮置場の場所を決定し、ホームページやチラシ、ごみ分別アプリ「さんあ〜る」などでお知らせする予定です。日頃のごみ出しにも活用できるごみ分別アプリ「さんあ〜る」の登録をお願いします。登録料・使用料・個人情報の登録は不要です。ただし通信料は利用する方の負担になります。



ごみ分別アプリ さんあ〜る

災害時のごみ出し情報から通常のごみ分別帳まで様々な情報をお知らせします。



App Store
からダウンロード



GET IT ON
Google Play

その他防災に関する 情報の入手方法

◇下諏訪町防災行政無線
テレホン案内サービス

☎0120-27-2311

防災行政無線放送の直近の内容を確認できます。

◇メール配信サービス

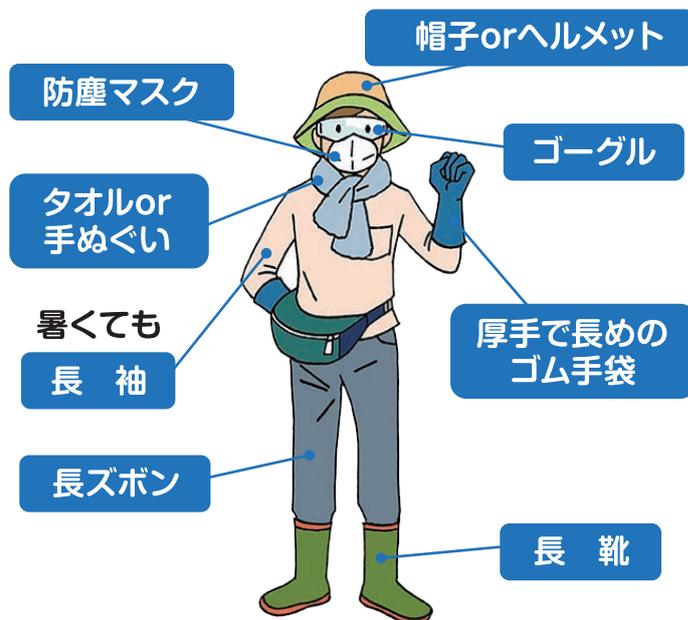
緊急放送や暮らしの情報等をメールで配信します。

※利用者登録が必要です。



○ごみを片付けるときの注意

- 災害ごみには、割れたガラスや金属などが含まれているので、とても危険です。肌を露出しないよう、暑くてもタオルや手ぬぐいを首に巻き、長袖、長ズボン、厚めのゴム手袋を着用してください。
- 泥やほこりには有害物質が含まれていることがあります。目や口から入らないように、ゴーグルやマスクを着用してください。
- 熱中症対策や防寒対策などを行うとともに、片付け中のごみの倒壊等が起きることがあるので、できるだけ二人以上で片付けをするようにしてください。



出典：政府広報オンライン

被災地を応援したい方へ災害ボランティア活動の始め方
服装や持ち物の一例の図を加工して作成

○日ごろからの備え 災害廃棄物をできるだけ出さないために

災害時に、壊れて散乱した家具や家電でケガをしたり、片付けに余計な負担がかかるかもしれません。いつ起こるか分からない災害から身を守るために、今できることから準備を始めましょう。

◇家具を固定する 家具や家電を固定しておくことで、破損を防ぐことができます。

本棚やタンス

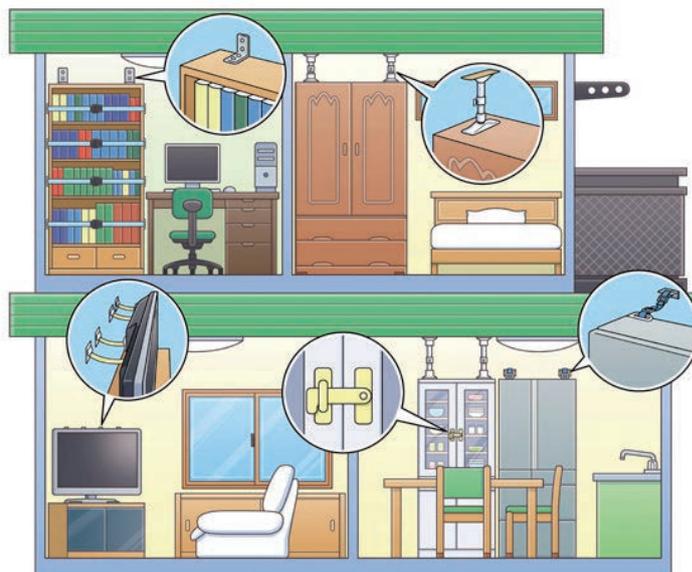
つっぱり棒やL字金具で固定をする。
重いものを下の方に収納し、重心を低くする。

テレビ

転倒防止ベルトや粘着マットで固定をする。
テレビ台なども移動防止器具などを使用する。

食器棚

つっぱり棒やL字金具で固定する。ガラス飛散防止フィルムを貼る。扉開放防止器具を使う。
滑り止めシートで食器の飛び出しを防止する。



出典：政府広報オンライン

◇不用品を処分する 災害時のごみを減らすだけでなく、避難通路の確保にも役立ちます。

災害時のごみ分別にご理解とご協力をお願いします

災害時のごみの正しい分別と排出は、町の復旧・復興に大きく影響します。町民のみなさまには、ご不便、ご迷惑をおかけしますが、災害時のごみの分別にご理解とご協力をお願いいたします。

災害廃棄物の処理は、環境省の定める災害廃棄物対策指針に基づいて行います。

発行 令和4年3月

問い合わせ 下諏訪町 住民環境課 生活環境係 〒393-8501 下諏訪町4613番地8
電話：0266-27-1111 (内線142) e-mail: kankyou@town.shimosuwa.lg.jp